



伊豆の国市 議会だより

2021年6月1日発行

No.60

編集

伊豆の国市議会だより特別委員会

〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1

☎ 055-948-1417 FAX 055-948-2913

<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>

3月定例会・3月臨時会・4月臨時会・5月臨時会

就任の挨拶・議員紹介 ○○○○○○ 2

新委員会構成 ○○○○○○○○○○○○ 3

常任委員会報告 ○○○○○○○○ 4~5

一般質問 ○○○○○○○○○○○○○○ 6~11

議決結果・賛否一覧 ○○○ 11~12

議会の動き ○○○○○○○○○○○○ 12

源氏山公園から市内を望む

令和3年 伊豆の国市議会新体制始動！！

4月に市議会議員選挙が行われ、17人の議員が決まりました。

就任の挨拶

令和3年4月の選挙後の臨時議会において、正副議長に就任しました。

市民が直接選挙で市長と市議会議員を選ぶ制度を二元代表制といいます。

市民を代表する市長と議会がとら対等の機関として、伊豆の国市の運営の基本的な方針を決定（議決）し、議会がその執行を監視します。

また、積極的な政策提案を通して政策形成の場となることが二元代表制の本来のあり方です。

現在、伊豆の国市の財政は、危機的な状況にあります。市民とその危機感を共有し、行政、議会が一元となつて市政発展のために、再生に取り組んでいくことが大切です。

そのためには、議会機能の充実と市民への情報公開が我々に与えられた責務です。

これからも市民の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長

鈴木 俊治



議長

内田 隆久

議員



1. 山口 貴子
(古奈)



2. 長谷川 浩
(古奈)



3. 山本 昭彦
(寺家)



4. 井川弘二郎
(大仁)



5. 高橋 隆子
(韭山山木)



6. 森下 茂
(宗光寺)



7. 笹原 恵子
(南條)



8. 八木 基之
(北江間)



9. 二藤 武司
(奈古谷)



10. 小澤五月江
(古奈)



11. 柴田 三敏
(古奈)



12. 天野佐代里
(南條)



13. 古屋 鋭治
(田京)



14. 田中 正男
(中)



15. 三好 陽子
(御門)



16. 鈴木 俊治
(堀之上)



17. 内田 隆久
(大仁)

議席番号順に掲載
氏名
(住所)

議会運営委員会

総務観光建設委員会、福祉文教経済委員会の各委員会より選出され、定数は6人です。正副議長がオブザーバーとして出席します。

定例会前の委員会開催時期は、概ね定例会初日の一週間前に開催します。その他、議会運営に関する事項、関係条例の改正等、検討の必要がある場合にはその都度、開催し議会の運営が円滑に行われるよう審議します。



菅原恵子
八木基之（委員長）
田中正男
三好陽子（副委員長）
小澤五月江

総務観光建設委員会

市長戦略部（市長公室・政策戦略課・財務課）、総務部（総務課・情報システム課・管財管繕課・税務課・危機管理課、地域づくり推進課）、観光文化部（観光課・文化振興課・スポーツ振興課・大河ドラマ推進課）、都市整備部（都市計画課・建設課・水道課・下水道課）の四部と、会計課、議会事務局及び監査委員事務局が所管となります。



長谷川浩
二藤武司
古屋鋭治
柴田三敏
田中正男
天野佐代里
小澤五月江（委員長）
森下 茂（副委員長）
内田隆久

福祉文教経済委員会

市民福祉部（市民課・健康づくり課・国保年金課）、市民福祉部福祉事務所（社会福祉課・障がい福祉課・長寿福祉課・保健福祉・子ども子育て相談センター）、教育部（学校教育課・幼児教育課・生涯学習課・文化財課）、経済環境部（農業商工課・環境政策課・廃棄物対策課）で構成される三部が所管となります。



鈴木俊治
八木基之
山口貴子
笹原恵子（委員長）
高橋隆子
井川弘二郎（副委員長）
山本昭彦
三好陽子

議会だより特別委員会

市議会の活動を市民の皆さんに知っていただくため、毎定例会後に「伊豆の国市議会だより」を発行しています。特別委員会では、議会だよりの原稿や表紙などのチェック、レイアウトを行い、議会の活動記事を、誰にでも見やすい読みやすいものとして提供できるように工夫しています。



長谷川浩
山口貴子
森下 茂
高橋隆子（委員長）
柴田三敏
井川弘二郎（副委員長）

一部事務組合等

●駿東伊豆消防組合議会議員

天野 佐代里、森下 茂

●伊豆市伊豆の国市

廃棄物処理施設組合議会議員

鈴木俊治、八木基之、笹原恵子、山本昭彦

●三島市、伊豆市及び伊豆の国市

電算センター協議会運営委員

古屋鋭治、二藤武司、長谷川浩

●都市計画審議会委員

天野 佐代里、柴田三敏

令和2年度一般会計予算

■人事評価制度定着支援業務が委託料45万円となっているが、具体的に何をしようとしているのか。

仕事に対する成果の評価と人事の能力評価という形で、通年を通して個々目標を立てて、その成果について前期、中期、そして期末に評価をしている。その評価手法について研修を各課長、次長に学んでもらうこと。

■県内で電算センターを広域でやっているところは伊豆の国市のグループだけということだが、単独と広域でどちらが安いか検討はしたか。

法改正等の対応はスムーズにできるメリットはある。調べてみる。

■常備消防費が、887万円の増額。駿東伊豆消防組合ができるときに、今よりも運営費が下がって、市の財政支出も少なくなると進めてきたが、年々この負担金が上がっていったら、8億円近くに金額が上がっていく状況をどう考えているのか。

令和3年まではこの消防費の基準財政需要額の下で動くという形になっているので、令和3年度中に幹事、常任

委員会等で話をする。

■入湯税が3か年分の平均の80%で本年度予算額を決定したということだが、令和2年度の入湯税見込みというのはいくらか。

3月から12月までの累計が51・37%となっている。



いずのくに1万人宿泊キャンペーンとは？
伊豆の国市内の宿泊施設に宿泊すると、お一人様1泊につき最大5,000円の割引を3泊分まで受けられるお得なキャンペーンです。ぜひこの機会に伊豆の国市へお越しください！！

実施期間 8月1日(土)～令和3年3月30日(火) 宿泊分まで

割引金額	1人1泊あたりのお支払(お一人様1泊) (消費税込)	割引額	最大3泊分補助
10,000円以上	6,000円以上	5,000円	3,000円
6,000円以上			

■空き家対策事業、空き家が市内で278か所あるということだが、この対策事業というのはなかなか進まない。推進協議会を年3回会議があつて、令和2年度にどのような進捗があつて、令和3年度でどのようなことをしようとしているのか。

令和2年度は、特定空き家の代執行事業で、相続人が当初の調査に加えて9人ほど余計に出て、連絡をしようとしていない。事業が遅れて周辺住民に迷惑をかけている。実際に手が回らない。他の市町村では、この空き家対策のた

めにチームをつくって重要視している。

■かわまちづくり計画推進事業、官民連携手法導入支援業務は、民間事業者による公園の施設整備や管理運営について可能性を調査すると言っている内容が分からない。

民間活力、民間の資金を活用してやる場合に広く官民連携手法と言っている。公募設置管理制度がここに導入することができるとか調査をしたということ。

■あやめ祭のリニューアルと市内の花火大会費用の説明を。

「あやめ祭」は、イベントの内容を検討している。演芸会は、来年度も実施をしない。武者パレードの復活と、古奈地区と長岡地区を源氏山でつなぐような仕組みができないか検討をしている。「きにゃんね大仁夏祭り」はオンラインピックによっては日程の変更の可能性はあるが実施。「狩野川まつり」と「伊豆長岡温泉戦国花火大会」は、今年度同様、秋の開催を計画している。

■放送業務委託料(FMいずのくに)が昨年は718万円で、新年度は800万円ということ増額となった理由は。

経営改善の途中で、最終年度は今年

度までだが、もう一年度の予算はある程度補償する形で800万円計上した。

■償還シミュレーションについて、中期の税収見込みと、その他の歳出見込みの見通しがないと、この償還額が適切か判断できないと思うが。

令和4年度、令和5年度の見通しができない中では、借入額に対する償還を説明した。実質的な負担の部分で確かに上がる部分については、地方税の増収を期待しているというわけではなく、財政調整基金の残高を活用しながらのいでいく。

■大河ドラマ「鎌倉殿の13人」伊豆の国市推進協議会交付金事業の目的は、地域の活性化を図るとある。本市の財政状況から経費として、この推進協議会への交付金額は多額なものとなっており、本市財政の圧迫へつながる課題として認識している。この目的を最小の費用で最大の効果で実現するため、以下の2点について、附帯決議として決定する。

①大河ドラマ「鎌倉殿の13人」伊豆の国市推進協議会交付金で行われる事業の費用対効果を精査すること。

②予算規模の縮減に向けて検討していくこと。

福祉文教経済委員会

令和3年度一般会計予算

■住宅確保給付金803万円は、どのくらいの人数を見込んで計上したのか。

令和3年度は、単身世帯で15件、2人世帯で10件、3人世帯以上3件。令和2年度の実績も踏まえ計上した。

■安全安心連絡網管理事業25万2千円は、昨年度36万8千円から減額になった理由は。

令和2年度に整備したシステムにより、幼稚園・保育園からお知らせが可能となり、減額となった。令和2年度までは、幼稚園・保育園、小中学校を含めた形で計上していた。

■地域学校協働活動推進事業393万5千円の中で活動推進員報酬と会計年度任用職員報酬が増額の理由と、推進員は各校何人に委嘱する予定か。

各校3人、6校で18人を計画している。初めて会計年度任用職員を1人置くが生涯学習課の事務局に配置し、市へ一括して、本部としてやっていく。

■歴史ガイド委託料546万4千円は前年度と変わらないが、コロナ禍の中、減額は考えなかったのか。

予算編成時の昨年10月時点では、コ

ロナの影響による休館は想定していない。予算要求はしたが、実態に即して運用したいと考えている。

■斎場費使用料625万2千円は、どのような試算なのか。

市内の12歳以上は580件、12歳未満は2件、胎児等は19件、市外の12歳以上は45件、胎児等4件。

新しいサービスとして、霊安室は延べ12日間、多目的室は50時間、ペット火葬は、250件。その他、自動販売機の設置使用料を計上した。

■葦山最終処分場維持管理事業812万4千円は、令和2年度で覆土して、ごみは投入しない計画だったが、維持管理費が変わらない理由は。

葦山最終処分場は、まだ最終的な閉鎖までなっていない。今年度から少しずつ覆土材を持ってきて、最終的な閉鎖に向けての準備を進めている。

■鳥獣対策事業983万9千円は、1200万円ほど増えている理由は。

昨年から今年度にかけて捕獲数が非常に増えている実情があり、鳥獣被害

防止対策協議会の補助金に対する県の補助金が増額されたため。

■成人健康診査事業の中で、胃がん・大腸がん・肺がん検診委託料の増額の理由は。

デジタル化の関係で、今まではフィルムであったものを、デジタルにすることで単価が上がった。

■人間ドック委託料340万円は、助成額2万円の170人分とされるが、今年度はコロナの影響を考慮しての計上か。

令和元年度の実績は157人で、大幅に目減りしたことはなく、170人程度は確保しておかないと、今後コロナワクチンが普及すると、この程度の定員数は必要と考えている。

令和3年度国民健康保険特別会計予算

■その他一般会計繰入金2500万円は、令和元年度・2年度が5000万円であるが、半額にした理由は。

行財政改革の計画表では、令和元年度と令和2年度は5000万円を、令和3年度以降は2500万円以下の繰り入れをして保険事業に充てる計画になっている。

国保の被保険者の減少に伴い、金額

的には足りると見込みを立てている。

令和3年度後期高齢者医療特別会計予算

■広域連合納付金は700万円増えているが、決められた額を納付するのか。

納付金は、前月に徴収したものを報告して、その金額により広域連合に納付するので、実績によるものになる。

■令和3年度介護保険特別会計予算5億2500万円の大減額の理由は。

令和元年度と令和2年度は、第7期計画の給付費を基にしている。平成30年度ときには、消費税の増税、工事の遅れが生じた施設設備を見込んでいたので、給付費が実績よりも多くなっていた状況。第8期計画として給付費を推計し直したことで減額している。

令和3年度楠木及び天野揚水場管理特別会計予算

■楠木用水タンク浚渫工事128万7千円は、定期的に行う工事なのか。

タンクの泥を抜く作業もするが、毎年少しずつたまっていくので、重機を入れて浚渫を行う。何年毎と決まりは特に設けていない。

令和3年度国民健康保険特別会計予算